

時間割番号/Registration No.	G2063		
授業科目名/Course Title	初等教科教育法（図画工作）		
授業科目名英語/Course Title	Teaching Methods in Art and Handicraft for Elementary Education		
担当教員名/Instructor	竹内 晋平		
単位数/Credits	2		
授業の方法/Type of class	講義		
更新日/Date of renewal	2019/09/01		
目的/Course Objectives	図画工作科教育の内容、小学校における子どもの造形活動の内容と 教育方法を研究しながら、授業づくりの発想と実践力を培う。		
到達目標/Course Goals	小学校図画工作科における子どもの姿を想定し、教材試作・鑑賞研究等をふまえて学習指導案を作成することができる。		
Cuffet 項目/Cuffet	(学校教育教員養成課程)	42	授業等の実践－実施
授業計画（内容と方法） /Class schedule	1 オリエンテーション（第1章 図画工作科教育のベース） 2 図画工作科の授業とは（第3章 学習指導要領の発展と図画工作） 3 題材の提示①（第4章 児童の造形と造形遊びの指導） 4 題材の提示②（第5章 心象表現と絵の表現指導） 5 題材の展開（第12章 伝統や文化に関する教育と図画工作） 6 題材づくりと指導案作成①（第7章 適応表現と工作の表現指導） 7 題材づくりと指導案作成②（第10章〔共通事項〕を踏まえた学習指導） 8 鑑賞と言語活動（第8章 平面作品の鑑賞） 9 学習指導案の検討①（第6章 空間認識と立体の表現指導） 10 学習指導案の検討②（第11章 可能性を伸ばす図画工作の評価） 11 ミニ模擬授業1（代表者） 12 ミニ模擬授業2（代表者） 13 ミニ模擬授業3（代表者） 14 ミニ模擬授業4（予備日） 15 まとめ（第15章 世界的・社会的視野での図画工作研究） 16 筆記試験（試験は75分間で実施。配付・回収を含めて90分）		
テキスト、参考図書、 教材等 /Textbooks	<テキスト> 山口喜雄・佐藤昌彦・奥村高明編著『小学校図画工作科教育法』，建帛社，2018年 <準備物> A4 ファイル，画用紙(八つ切り大)，絵の具セット一式，雑巾，新聞紙，セロハンテープ，はさみ，カッターナイフなど。初回授業で詳しく説明する。		
評価方法/Evaluation	① 通常の授業での学習態度，授業対話カードの提出状況，課題作品，レポート(70-80%) ② 筆記試験(20-30%) 【単位を認定するために必要となる規準は、以下のとおりである】 ・教育実習等の理由がない限り，初回授業に出席していること。なお，やむを得ない事情がある場合に		

	<p>は、その事情を授業担当者まで連絡すること（教育実習による欠席は配慮の対象となる）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席が 5 回以内であること（遅刻は、欠席 0.5 回と数える。30 分以上の遅刻は欠席。病気、けが、公式戦、演奏会なども欠席に含む。いわゆる「遅延証明書」等は受け付けない）。 ・欠席時には、事後に授業担当者から配布プリントや材料を受け取り、自宅で自学自習をすること。課題があれば翌回に提出する。欠席のまま次週を迎えないようにすること。 ・提出物の内容が一定水準以上であり、期限が守られていること。 ・グループ活動は、メンバーと協力して取り組んでいること。 <p>※ 忘れ物があった場合は減点の対象とする。</p>
<p>準備学習等 ／Preparation Learning</p>	<p>材料・用具の準備を行い、図画工作に使用する用具の使用方法を確認しておくこと。</p>
<p>受講上の注意、メッセージ等 ／Caution,Message</p>	<p>図画工作科に対する得手不得手にかかわらず、ものづくりの楽しさを伝える授業科目にしたいと思えます。製作をともなった課題やレポートなどが課されますが、ていねいに取り組みましょう。</p> <p>連絡先： 美術科教育・竹内晋平研究室（shimpei@nara-edu.ac.jp）</p>